

5) 会社が倒産した場合

様式第1号の3 (第3条関係)

実務経歴証明書

① 令和〇〇 年〇〇月〇〇日

長崎県指定登録機関
一般社団法人 長崎県建築士会 会長 様

② 株式会社〇〇建築設計事務所
証明者

③ 住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地
電話番号 〇〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇

④ 免許申請者との関係

下記の者が申請した 二級木造 建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違しないことを証明します。

記

⑤ 1. 免許申請者氏名 建築 士郎

⑥ 2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： 2 年 0 月

⑦ 建築実務の内容：
・事務所ビル(鉄筋コンクリート造 5 階建て、延べ面積 2,000 ㎡)の基本設計の補助を担当。
・小学校(木造 3 階建て、延べ面積 3,000 ㎡)の基本設計・実施設計の補助を担当。
・病院(鉄筋コンクリート造 3 階建て、延べ面積 2,500 ㎡)の設計と条件の整理を担当。

⑧ 備考
1 この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
2 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認したことを証明すること。
3 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。

⑨ 上記の実務を行った株式会社〇〇建築設計事務所は、平成〇年〇月に倒産した。

【記入についての確認事項】

① 証明年月日

証明年月日が、「実務経歴書」の「建築実務経験期間」に記入された日付より後であること。

② 証明者

勤務先の名称のみを記入

証明者の署名・押印は必要なし

③ 住所・所在地・電話番号

勤務先（倒産前）の所在地、電話番号を記入。

（所在地・電話番号が不明の場合は無記名でも構いません。）

④ 免許申請者との関係

免許申請者と「②証明者」の関係を記入すること。

⑤ 免許申請者氏名

実務経歴書に記入された免許申請者の氏名と相違ないこと。

⑥ 建築実務経験期間の合計

実務経歴書に記入された「建築実務経験期間の合計」と相違ないこと。

⑦ 建築実務の内容

実務経歴書に記入された「実務経験の対象となる業務の内容」を簡潔に記入すること。

⑧ 備考

⑨

実務経歴書の2枚目の下の余白部分に、申請者は会社が倒産した旨を記入します。

※倒産した日付が不明の場合、日付は記入不要